



小石台

NO. 12 令和6年6月26日発行 担当：教頭

【学校教育目標】

「なりたい自分を求め、自ら考え
判断し、行動する生徒の育成」

《めざす生徒像》

- ◇すなおに ◇ただしく
- ◇はつらつと ◇たくましく

今年も地域との交流を大切に！そして地域を元気に！

21日（金）今年の「チャレンジ55+」全校集会が行われました。学校報「小石台」NO10でお伝えした生徒会三役の生徒と教員のランチミーティングを受け、生徒会執行部の皆さんが準備をしてくださいました。今は、一人一人の希望を集計し、班編制をしているところです。今年も南中のチャレンジ55+の活動をはじめ、地域との交流を大切にしていきます。



チャレンジ55+の活動としても小中連携の活動としても二井田保育所との交流をこれからも行っていく予定です。

また、「小石台」NO2でお伝えした「地域ボランティア」についても「地区の運動会へ積極的に参加しよう！」という意見が生徒から出され、参加を計画していたところでした。

さて、20日（木）には6名の保健委員が南小生2名と一緒に二井田保育所を訪問し、メディアの使い方についてお話やクイズをしてきました。



今月2日は二井田地区、9日は真中地区で運動会が行われました。南中生も選手として活躍したり運営のお手伝いをしたりと、楽しく参加させていただきました。地域の方々からは「今年は中学生の参加がとても多くて運動会が盛り上がった」「おかげで運動会が華やかになった」などの声をたくさんいただいています。「地区運動会に参加することで地域を盛り上げたい！地域を元気にしたい！」という南中生の願いが伝わったのではないかと思います。

これからもさまざまな活動を通して、地域との交流を大切にしていきます。また、保育所や小学校との連携もより一層深めていきます。保護者の皆様にもご協力いただくことがあるかと思いますが、どうかよろしくお祈りいたします！

「北教育事務所長訪問」がありました

6月12日（水）北教育事務所と大館市教育委員会から計7名のお客様が来校し、全学級、全教員の授業をご覧になりました。この訪問は毎年必ず行われるものです。昨年度は7月14日でしたが、その時に「南中生全員に更に求めたいこと」として

- ・授業の中での中学生らしい元気さ
- ・全体でも、グループ討議のように、堂々と大きな声で話すこと



というアドバイスを受けました。同じく昨年度の11月、南学区小中連携部会や、いろいろな訪問、研究会の際にも、「残り4か月で伸ばしたい南中生の力」として

- ①「正しいかどうか」ととらわれず、自分の考えたことや思ったことを、自分から言う。
- ② 相手や回りの人に、しっかり伝わるように言う。
- ③ そして、相手や回りの方の考えも、きちんと聞く。
- ④ 授業で「わかった!」と思ったことを、しっかり定着させるために、自分に必要な学習を家庭で実行する。

というアドバイスをいただきました。学校として改善目指して取り組んできましたが、今年度に入って「南中参観」（小石台NO7）や「南中しゃべり場」（小石台NO8）など、生徒主体の新しい企画に取り組んでいました。

そのような時期の「北教育事務所長訪問」でした。すると来校したお客様たちから次のような感想をいただきました！

- ・生徒主体で授業を改善しようとする取組が素晴らしい。
- ・毎年参観しているが、今年は大きく向上したと感じられた。
- ・生徒司会による「直耕タイム」など、子どもたちが自分たちの力で授業をつくろうとしていることが伝わるし、成果も感じる。
- ・教師の授業力も生徒の能力も、かなりクオリティが高い。



「自分(たち)の課題や弱点に対して本気で向き合い、改善策を真剣に考え(話し合い)、決めたことを実行する」という取組がとても大事であることを実感しました。

これから、授業(集団)だけでなく、家庭でのレベルアップタイム(個)でも、この方法を存分に活用して、どんどん力を伸ばしていきたいと思えます。



まずは、昨日の「第1回定期テスト」について、自分の目標、取組、結果の関係を振り返り、課題や弱点に対して本気で向き合い、改善策を真剣に考える、ということを学校でも促します。親子でも話題にし、励ましていただければと思います。